

由利本荘市議会だより

2017
平成29年
2月1日号
No.47

スポーツの力で
市民の元気と地域の活性化を！
昨年10月10日に「スポーツ立市由利本荘」を宣言しました



第12回 由利本荘市ジュニアユニホック大会
1月9日 小友地区健康増進センターアリーナ

12月定例会

16日間の会期
市提出案件53件を審議

各委員会審査報告
事業内容と進捗状況を問う

ここが聞きたい
一般質問に7人登壇

由利本荘市議会だより No.47

2017.02.01



発行/由利本荘市議会
編集/議会報編集特別委員会

〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17番地
電話/0184-24-6386 FAX/0184-27-1793
ホームページ <http://www.city.yuribetsu.lg.jp/>

由利本荘市議会



本荘北中学校 2年
(町内名 松美町)
むらい ゆきょう
村井 佑匡 さん

地域を支える仕事を体験して

東 日本大震災は、小4だった僕に、災害の恐ろしさを刻んだ。その一方で、被災した人々のために力を尽くす消防士の姿に、希望と憧れをもった。中2の職場体験で、消防署を選んだのはこの気持ちがきっかけだった。

消防署での体験を通して強く感じたことがある。それは、いつ何があっても対応できるよう、日々厳しい訓練を真剣に行っている署員の方々の熱い思いだ。それを支えるのは、地域の安全を守りたいという使命感だということを知り、憧れだけではなく、消防士という職業に対して尊敬の気持ちがわいてきた。

消防士の方々だけではない。地域を支えるために、多くの人たちが力を尽くしているということに改めて気づいた体験だった。



大内小学校 6年
(町内名 葛岡)
きくち りお
菊地 莉央 さん

地域の伝統 ぼんでん祭り

私 が毎年楽しみにしている地域の行事は、3月第2日曜日に行われる長坂の切通稲荷神社のぼんでん祭りです。それぞれの町内や企業が手作りのぼんでんをあげ、家内安全や五穀豊穡を祈願します。

ぼんでんは、鮮やかな色とりどりの布やキャラクターで飾られ、とても個性的です。また、「けんかぼんでん」と言われてるように、ぼんでんを威勢よくぶつけ合いながら神社に入っていく様子も迫力があります。食べると一年間健康でいられるという境内からまかれる餅を拾うことも楽しみの一つです。

大内小学校でもみんなでぼんでんを作って奉納します。学校のみならず大内の伝統ある祭りに参加できることがうれしいし、ずっと大事にしていきたいと思います。



東由利地域 (町内名 寺田)
おの すみえ
小野 純恵 さん

まちの声から

雪を楽しもう

我が地域東由利は、他の由利本荘地域よりも少し雪が多めです。真冬になると、1日に何度も雪かきをし、大人は春を待ち遠しく思っています。

子供達というと、雪あそびが大好きです。東由利には、大平スキー場があります。存続の危機もありましたが、継続してくださり近場でウインタースポーツを楽しむことができています。

東由利小学校では、毎年スキー教室が行われています。子供はすごいもので、何日か練習すれば滑れるようになりま

す。1人で滑れるようになった子供達が、とびっきりの笑顔を見せてくれるのがとってもたのしみです。

やっかいな雪ですが、雪のおかげで楽しめるウインタースポーツがこの地域にはあります。

編集後記

昨年7月31日、鳥海山五合目まで自転車に登る山岳レース第30回矢島カップが開催されました。

標高差1100m、距離26km。暑さと厳しい自然条件、そしてローカル色豊かな大会で今では参加者千人を超える日本有数のレースとして定着しています。

私も毎回参加していますが、閉会式で最高齢完走賞を受賞した方が82歳、30回大会中29回を完走した方が81歳と高齢者が大健闘でした。常日頃から「貯筋」をやればできることの証明です。スポーツ立市由利本荘の矢島カップにふさわしいお二人です。

(佐々木隆一)

議会報編集特別委員会

委員長
副委員長
委員

高 三 今 村 伊 三
野 浦 木 野 上 藤 浦
吉 隆 英 岩 秀
孝 晃 一 元 亨 夫 雄

平成28年度 一般会計補正予算

原案可決

10億5580万円を追加 総額480億4988万円

平成28年12月定例会は、12月1日から12月16日までの16日間の会期で開かれました。

市提出案件は、53件で、専決処分報告、人事案件、条例関係、契約締結、補正予算などを審議し、原案のとおり、承認、同意、可決したほか、陳情6件のうち、2件を一部採択、1件を趣旨採択、3件を不採択としました。

また、議員発案2件、委員会発案（意見書提出）2件を原案のとおり可決しました。

一般質問では、2日間にわたって7人の議員が登壇し、市長の政治姿勢・教育振興・木材産業振興など、多岐にわたり市当局の考えに対し質問しました。

議員発案



議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正（議員発案第4号）
情報開示に関する規定を改めるとともに条文を整理するため、条例の一部を改正するもの。

議会議員政治倫理条例の一部改正（議員発案第5号）
関係私企業の届出義務に関する規定を改めるとともに条文を整理するため、条例の一部を改正するもの。

人事案件



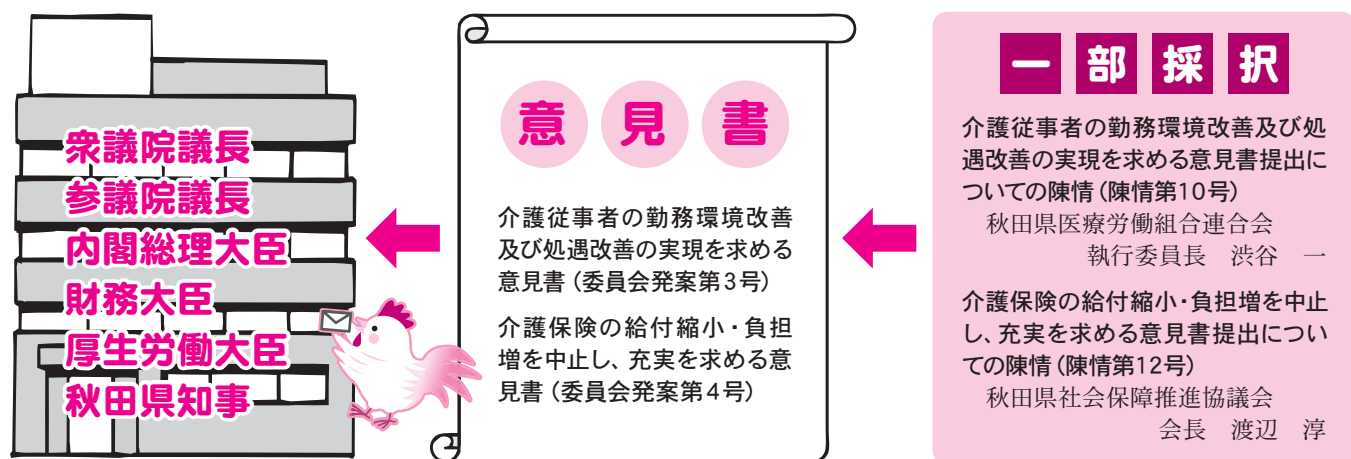
人権擁護委員任期3年

小野 長清氏（新任）
東由利地域 館合
宮本 康博氏（再任）
鳥海地域 上笹子
佐藤 三子氏（再任）
大内地域 岩合町
佐藤 弘子氏（再任）
鳥海地域 栗沢

【おわびと訂正】
11月1日号3ページの人事案件中、佐藤寛氏の「本荘地域 岩城」は、正しくは「本荘地域 石脇」でした。
おわびして訂正いたします。

12月定例会で審議した陳情の結果は次のとおりです

また、委員会発案の「意見書」が原案のとおり可決され、関係機関に送付されています。



趣旨採択	不採択
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書提出についての陳情（陳情第9号） 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 渋谷 一	地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書提出についての陳情（陳情第11号） 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 渋谷 一
若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求める意見書提出についての陳情（陳情第13号） 秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	高額の療養費、後期高齢者の窓口負担の見直しに当たり、現行制度の継続を求める意見書提出についての陳情（陳情第14号） 秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳
秋田県保険医協会 会長 草薨 芳明	秋田県保険医協会 会長 渡辺 淳

条例関係（主なもの）



農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例
農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの。

民俗芸能伝承館条例
鳥海地域伏見地区への民俗芸能伝承館設置に伴い、条例を定めるもの。



民俗芸能伝承館 完成予想図

由利高原鉄道株式会社に対する固定資産税等の課税免除に関する条例の一部改正
由利高原鉄道株式会社に對する固定資産税等の課税免除期間を5年間延長するもの。



課税免除期間が延長される 由利高原鉄道

契約関係（主なもの）

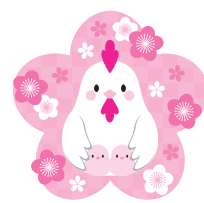


尾花沢第一排水区雨水管渠工事（第1工区）請負変更契約の締結
変更契約額2億3498万8560円で、長田建設・木内組土建・堀井建設特定建設工事共同企業体と契約。

矢島地区統合簡易水道整備工事請負変更契約の締結
変更契約額1億8907万2000円で、山科建設（株）・小坂工業（株）特定建設工事共同企業体と契約。

大内総合支所建設工事（建築主体）請負変更契約の締結
変更契約額3億775万1400円で、村岡・伊藤建友特定建設工事共同企業体と契約。

27号第1号二級市道吉沢東由利原線道路災害復旧工事請負変更契約の締結
変更契約額3億6766万8000円で、奥山・村岡特定建設工事共同企業体と契約。



議案の表決結果一覧表

※採決で賛否が分かれた案件を掲載しております。ほかは全て全会一致で可決されました。
※鈴木和夫議長は、採決に加わりません。 ※社民党・社会民主党 共産党・日本共産党

議案	会派・ 議員名	高 志 会										市 民 創 風										公明党	社民党	共産党	無所属 村上 亨	無所属 鈴木 和夫	表決数		議決結果
		伊藤 順男	佐藤 賢一	高橋 信雄	渡部 聖一	長沼 久利	土田与七郎	梶原 良平	湊 貴信	高橋 和子	三浦 秀雄	佐藤 勇	佐藤 謙司	渡部 専一	三浦 晃	吉田 朋子	高野 吉孝	大関 嘉一	渡部 功	佐々木慶治	井島市太郎						伊藤 岩夫	今野 英元	
議案第146号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	22	2	原案可決	
陳情第11号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	—	2	22	不採択	
陳情第13号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	—	2	22	不採択	
陳情第14号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	—	2	22	不採択	

○：賛成
×：反対

●議案第146号：由利本荘市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

総務

常任委員会

災害に備える

地域づくり

Q. 来年度、防災専門職員を採用する予定のようだが、特別な資格などが必要なのか。

A. 全国的に自然災害が多発している中で、地域防災能力を向上させるため「地域防災マネージャー」の資格を有する方を採用する。「地域防災マネージャー」は、防災に関する必要な研

修などを受講し、また5年以上の実務経験があること（幹部自衛官経験者など）が、資格要件である。



全市カバーに

あと一歩

Q. 移動通信用鉄塔施設が大内地域の滝若林に整備されるが、全市で不感地帯はどれくらいあるのか。

A. 基地局はこれで47カ所になる。整備後の不感地帯は、矢島・大内・東由利・鳥海地域の10集落15世帯となる。解消に向けて計画通り努力する。

市内の不感世帯はあと15世帯だよ



軟弱地盤の改良

Q. 大内総合支所建設工事の変更契約の理由は。

A. 基礎工事で掘削した土を埋め戻そうとしたところ、その土が粘土質で含水率が高く強度が不足する恐れがあるため、固化材を混合して埋め戻すことにした。



大内総合支所の工事現場

教育民生

常任委員会

（仮称）おもちゃ美術館の計画が進んでいるようだが

使った木育空間やトイシヨップ、てづくりおもちゃファクトリー、歴史や文化を伝える展示室などで構成し平成30年7月オープン



（仮称）おもちゃ美術館の計画が進む旧鮎川小学校

Q. 公立保育園民営化の進捗状況は。

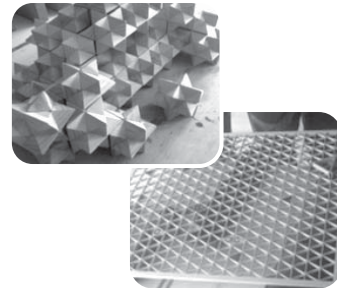
A. 平成28年11月22日登記が完了し「社会福祉法人由利本荘保育園」を設立した。平成28年12月1日、岩谷保育園内に本部事務局を置き事務作業を開始した。

学校や教育委員会に多くの視察団が来市

Q. 県外などからの学校視察・行政視察の状況は。

A. 平成28年12月の時点で45団体303人の視察を受け入れている。また本市の教育委員会からも14回にわ

ンを予定している。



「木のおもちゃ職人」による試作品

市内公立8保育園を1つの法人で経営へ

Q. 対象となる保育園は。

A. 亀田、ゆり、岩谷、下川大内、上川大内、西目、川内、笹子の8保育園である。



事務局のある岩谷保育園

たり延べ22人が県外へ招聘されている。

県外からの学校視察が好評です



産業経済

常任委員会

農業委員選挙から市長の任命へ

Q. 農業委員会の委員定数などの改正内容は。

A. 農業委員の定数が、農業者数、農地面積などから算出される法律の定数上限の24人、農地利用適正化推進委員は23人になる。

今後は1月～3月に推薦・募集を行い、選定委員会による選定を経て、8月に市長が農業委員を任命、

暗渠排水の施工

手続き変更について

Q. 暗渠排水・区画拡大の助成事業変更点は。

A. 平成29年度から農業基盤整備促進事業の定額助成の制度改正があり、実施方法や単価などが変わった。農家が直接業者発注はできなくなり、実施主体が市、

農業委員会が推進委員を委嘱する予定である。

第3セクター

フォレスト鳥海の経営状況

Q. 運営費補助金2千万円と大規模改修の内容は。

A. 東日本大震災や韓国定期便の休止に加え、主要ルートへの道路崩落により利用客が大きく減少し厳しい経営が続いている。現在は、ダム工事関係者



大浴場を改修するフォレスト鳥海

土地利用が堅調で、今後、市補助金を活用して経営改善を進めていく。また、今回の工事は県の予算で大浴場の天井部分を改修するものである。

移住希望者への支援体制

Q. 本市への移住者が徐々に増えているようだが今後の事業内容は。

A. 現在の移住者は平成27年度で15組29人、平成28年度は11月末で8組17人である。いずれも当初の数値目標を大きくクリアすることが出来た。

今後も移住ミーティングの開催や、体験ツアーなどを実施して希望者とのネットワークを構築していく。

併せて仕事づくり課と商工振興課が連携して、移住実現に向けた就業へ支援していく。

建設

常任委員会

市道吉沢東由利原線 災害復旧工事の 増工について

Q. 降雨による被害拡大への対応と工事の進捗は。

A. 降雨に伴う被害拡大により、1700㎡の掘削土量を排除した。

また、大型ブロック積み
の床掘作業中に背面土塊の
変異が確認されたため、仮
設ロックボルトを施工した。
これにより、789万6



市道吉沢東由利原線災害復旧工事現場調査

千円の増額となる。
工事期間は、10日間の延
長となる。

尾花沢第一排水区 雨水管渠工事 (第二工区)の 変更契約について

Q. 工事の変更内容とその金額内訳は。

A. 掘削工法を、土留工圧入工法から砂地盤に対応するため、ウオータージェット併用圧入工法に変更するものである。

また、周辺住民の要請により、交通誘導員を現場状況に応じて配置変更を行うため増員するものである。
これにより、工法変更で528万2千円、誘導員の



掘削工法の状況調査

配置変更で175万8千円の増額となる。また、上流部において、延長を25・9m減とした。

地域住民用 雪置き場事業 について

Q. 地域住民用雪置き場事業の概要は。

A. 町内会・自治会などと住宅密集地の空き地所有者が、雪置き場として無償で貸与契約を締結した場合、その所有者の翌年度の固定資産税の一部を減免するものである。これにより、地域住民の除排雪の利便性の向上が図られる。

雪寄せは
ご近所同士協力を



総合防災公園 整備 特別委員会

工事の進捗状況は

Q. アリーナ建設工事の進捗状況は。

A. 現在、鉄骨組立作業お



よび1階部分の躯体工事を行っている。
11月末時点での工事出来高は、約26・5%となっている。



工事の進む総合防災公園のアリーナ

魅力発信と 知名度アップに Q. 命名権導入について。

A. 民間のネームバリューとノウハウなどを活用し、総合防災公園アリーナの魅力発信と知名度アップを図ることにより、賑わいの創

出、地域の活性化につなげるとともに、安定的な自主財源を確保し、市民をはじめ利用者へのより良いサービス提供、施設などの適切な管理・運営を推進するため、ネーミングライツ（命名権）の導入を具体的に検討していく。

利用しやすい 料金設定で

Q. 使用料金設定の考え方は。

A. 「由利本荘総合防災公園管理運営計画」に設定し

たメインアリーナや各諸室の使用料金については、県内主要体育館の料金なども参考にし、各競技団体長や自治会長などによる検討委員会での検討・協議して、市民が利用しやすい料金設定とした。

A. 当初の想定より、開館日数が増加（休館日が週1日から月1日に変更）したことや、自主事業（教室など）のための人員増などによる人件費分の増加が主な内訳であり、維持管理費は現段階で、当初の1億6千万円から2億円を見込んでいます。

維持管理費 増額の訳は

Q. 維持管理費4千万円増額の内訳は。

的のプロスポーツや興行イベントなどでの利用時には、割増料金を設定している。

議会日誌

主なものを
お知らせ
します



【10月】	5日	議会報編集特別委員会
	6日	鳥取県米子市議会行政視察
	7日～8日	総合防災公園整備特別委員会行政視察
	12日	千葉県松戸市議会行政視察
	13日	東北日本海沿岸市町村議会協議会中央要望
		東京都羽村市議会行政視察
	14日	議会報編集特別委員会 和歌山県議会行政視察
	27日	各期成同盟会等県内要望
【11月】	1日	総務常任委員会協議会 会派代表者会議
	4日	埼玉県熊谷市議会行政視察
	8日	北海道旭川市議会行政視察
	9日	神奈川県小田原市議会行政視察
	9日～11日	各期成同盟会等中央要望
	17日	総合防災公園整備特別委員会協議会
	22日	秋田県市議会議長会臨時会
	24日	議会運営委員会
【12月】	1日	本会議（開会） 議会全員協議会 会派代表者会議
	6日	本会議（一般質問）
	7日	本会議（一般質問） 議会運営委員会 会派代表者会議
	8日～9日	委員会（議案審査）・各常任委員会
	12日	委員会（議案審査）・総合防災公園整備特別委員会
	16日	本会議（閉会） 議会運営委員会 総務常任委員会協議会
		議会全員協議会
	22日	議会報編集特別委員会
	26日	平成29年度予算に対する各会派提言

12月定例会

議長公務報告

（平成28年10月～12月）

10月	1日	福島県いわき市市制施行50周年記念式典
	3日	東由利地域コミュニティバス運行開始出発式
	10日	スポーツ立市由利本荘宣言式典 スポーツ振興大使を囲む会
	12日	大内総合支所建設工事起工式並びに安全祈願祭
	31日	羽越本線高速化シンポジウム（新発田市）
11月	10日	羽越本線高速化促進大会（東京都）
		日本海沿岸東北自動車道沿線市町村建設促進大会（東京都）
	21日	「市道猿倉花立線」土砂崩落による犠牲者への追悼慰霊式
	22日	知事との行政懇談会（秋田市）
	28日	由利本荘医師会と市議会議員との懇談会
12月	15日	矢島スキー場開き
	26日	本荘由利広域市町村圏組合議会定例会

議長交際費報告

（平成28年10月～12月）

議長公務・交際費の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください。

◎慶祝、協賛など

【10月】20件
120,217円

【11月】14件
87,580円

【12月】3件
14,000円

◎弔 事

4件
70,000円

3月定例会日程 （予定）

2月16日(木) 本会議(開会)／22日(木)～24日(金) 本会議(一般質問)／27日(月)・28日(火) 各委員会
3月2日(木)・3日(金) 各委員会／8日(木) 本会議(開会)

2月3日(金)までに
受理する請願・陳情を
審議する予定です



弱者に寄りそった行政を

吉田 朋子
(会派 市民創風)

◆公共施設トイレの現状と整備は

問 小中学校全てに個室の男子用トイレの導入と洋式化の推進を。

答 先進事例などを十分に研究しながら、当面は計画的に洋式化を進め利便性を図っていく。

問 避難所としての使用時、多目的トイレは必要と思うが。

答 未設置の学校の近隣集会施設や地区体育館などに、多目的トイレが設置されているので、災害時には迅速な対応を図る。今後の改修や改築の際は、国の交付金などを活用し、洋式トイレ、多目的トイレの導入も検討していく。

◆生活困窮世帯への支援の仕方

問 本市にフードドライブの設置を。

答 食品の提供を受け入れるには、受け入れ窓口や保管、回収、配布の仕組みづくりが必要である。社会福祉協議会と自立相談支援事業の一環として検討、協議を進めている。

12月定例会の傍聴者は何人だったの？



102人だよ!!

質問項目

1. 北前船の寄港地交流を本市で
2. 公共施設トイレの現状と整備について
3. 小学校の統合による影響は
4. コミュニティスクールの推進によるメリット・デメリットは
5. 生活困窮世帯のために
6. ひとり親家庭の子供の居場所づくりをできないか
7. 旧鮎川小校舎を活用する(仮称)おもちゃ美術館について
8. 日本女性会議2016秋田第5分科会地域づくりのアンケートから
9. 小学6年生に議会傍聴を経験してもらうことはできないか

問 古着回収時、中高生の制服だけ別収集し、無償提供できないか。

答 収集、学校ごとの選別、保管、渡し方、一連の流れを整理し、関連部署の連携を検討する。

◆(仮称)おもちゃ美術館について

問 旧鮎川小校舎の活用にあたって高齢者や身体障がい者に対して配慮はされているのか。

答 多世代交流の場として、段差の解消、多目的トイレの設置、安心して楽しめる環境整備をしていく。

問 新駅設置の可能性について。

答 鉄道利用者の増加や収益改善をシミュレーションし、運営費用を検討していく。

質問項目

1. 市長の政治姿勢について
2. 由利高原鉄道株式会社について
3. 熊本地震災害現地調査での学びを本市防災計画にどう反映させるか
4. 羽後本荘駅自由通路の進捗状況と市道停車場東口線について
5. 本荘公園の都市公園整備計画について
6. 本荘地域の公共下水道整備事業について
7. 本荘郷土資料館について

◆羽後本荘駅東西自由通路の進捗状況と全体予算は。

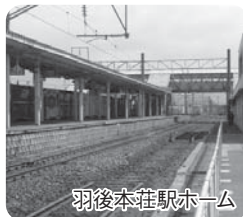
問 進捗状況と予算及び停車場東口線の見込みは。

答 J Rと由利高原鉄道の三者間で「整備に関する基本協定」を締結、平成32年の供用開始を目指し基本設計を行っており、年度内に実施設計に進む。

総事業費は「橋上駅舎と東西自由通路整備費」と「東西の駅前広場整備費」で約37億4100万円と試算、合併特例債や国庫補助金を見込んでいる。

J R東日本の負担額は「橋上駅舎を含む東西自由通路整備費」の約8%を予定している。

「停車場東口線」は多額の費用を要することから、自由通路の整備後に進める。



羽後本荘駅ホーム



普通交付税額、前年度比マイナス3.9%

今野 英元
(会派 社会民主党)

◆普通交付税額約184億9200万円

問 普通交付税の算定と決定額は。

答 普通交付税の算定では、平成27年国勢調査の人口を用いたことや、高齢者支援、森林整備支援の項目が創設された。

決定額は約184億9200万円で人口減などにより、前年度と比較して3.9%、約7億1400万円の減少となっている。

◆国療跡地の医療廃棄物処理について

問 この廃棄物は感染性のあるものだが、どのような処理が行われたのか。

答 処理は11月18日より行われており、掘削・分別と収集・運搬・処理の作業を専門の2業者

質問項目

1. 普通交付税について
2. 指定管理者制度について
3. 国療跡地の医療廃棄物について
4. 小型家電リサイクル法の啓発と回収方法について
5. 公契約条例制定について

が担当している。

「医療廃棄物」は感染性を有するもので特別管理産業廃棄物とされており、最も厳しい基準で適正に処理されている。

1月下旬から2月中旬の処理完了を見込んでいる。

◆小型家電リサイクル法の啓発と回収方法について

問 資源の有効利用、環境汚染防止について市民の啓発、協力が必要ではないか。

答 回収方法は各自治体に一任されており、本市では「燃えないごみ」と一緒に収集している。平成26年度約45ト、平成27年度約43トの回収量である。この回収手法は「排出の利便性」が良く、有効利用、環境汚染防止にもなる。

質問項目

1. 4年間を振り返っての所感と3期目の市長選挙出馬の考えについて
2. 農業政策について
3. ナラ枯れ対策について
4. 市民や各種団体からの要望について
5. 廃校舎の利活用の進展状況は
6. 宅地分譲事業について
7. 大河ドラマ「真田丸」効果をどのように持続させていくか
8. 菖蒲公園の整備と管理運営について
9. 公共施設等総合管理計画とスポーツ振興計画との整合は

答 寄せられた要望に対しては、すぐに出来るもの、時間を要するものなど整理してから、緊急を要する事業や生活に密着した事業には積極的に投資し、スピード感を持って対応することなどを担当部局に確認と指示を出して、迅速な対応に努めている。内容によっては財源や事業手法・効果などの調査や検討が必要な場合もあり、こうした事案は要望者に対し、課題や対応について、丁寧に説明しながら要望を的確に捉え、迅速かつきめ細やかな対応を図っていく。

市長選挙出馬の考えは

佐々木 慶治
(会派 市民創風)

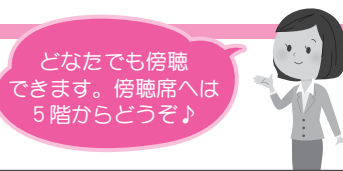
◆3期目の市長選への決意は

問 来春は、任期満了による市長選挙が実施される。始まったばかりの事業も多く、今後の育成が重要となってくるが、3期目の市長選挙出馬への考えについて伺う。

答 これまで蒔いてきた種が様々な分野で芽が出てきたところであり、この芽を育て着実に結実させることが私の使命だと感じており、市民の皆さまが安心して安全に暮らせる笑顔あふれるまちづくりを目指して、次の市長選挙出馬を決意した。引き続き市政の先頭に立って、由利本荘市の明るい未来を切り開いて参りたい。

◆市民要望への対応は

問 市民や各種団体などから寄せられる多数の要望にどのように迅速に答えていくか。



地震や津波の備えは万全か

高野 吉孝
(会派 市民創風)

◆「北由利断層」の地震発生確率は、やや高いグループに属しており対策が必要でないか

問 防災マニュアルの改訂は必要ないか。

答 平成25年に発行した「わが家の防災マニュアル」は、近年頻発する災害を受けて実施される法改正や、災害想定、防災施策の度重なる変更により、一部に更新が必要になっている。「改訂版」は、津波からの避難方法など、市民により解り易い内容で発行する。

問 一般木造住宅や集会施設の耐震性は確保されているか。

答 本市の一般木造住宅の耐震化率は、平成22年に策定した平成27年度末の目標値80%に対して68%にとどまり、昭和56年5月以前の旧耐震基準で建設された木造住宅の耐震化は進んでいない。目標年次を平成32年度に延長し耐震化率の目標を85%とする。
また、町内会が所有する旧耐震基準で建設された集会

質問項目
1. 地震や津波に対する備えについて
2. 人口減少対策について
3. 公共施設等総合管理計画における史料展示施設について
4. 総合防災公園関連について
5. バスの利便性向上について
6. スポーツ少年団への支援について

施設は約60%であり、耐震改修の補助制度を検討する。

◆総合防災公園関連について

問 (仮称)由利本荘アリーナの合宿誘致目標は。

答 平成27年度に本市で合宿したのは、28団体で宿泊者数は延べ1,343人であった。アリーナ完成後は50団体、3,000人を目標とする。

問 アリーナ屋外にインターバル速歩に適した歩道整備を。

答 車と交差しないようにアリーナを周回するなど運用を工夫して対応する。

◆バスの利便性向上について

問 バス停に椅子と屋根の整備を。

答 交通事業者と協議し、利用者の多いバス停を中心に待合環境の改善に努める。



スポーツ立市にふさわしいグラウンドゴルフ場を

佐々木 隆一
(会派 日本共産党)

◆グラウンドゴルフ場の整備拡充を

問 近年、高齢者を中心に人気の高い西目グラウンドゴルフ場は起伏に富んだコースで、各種大会グラウンドゴルフ同好会、また秋田市、庄内方面からの利用もある。利用者の休憩室がなく天候の急変があった時困るので、スポーツ立市にふさわしいものを設置していただきたい。

答 設置に向け検討してきた。今後とも利用者により良い環境を提供できるよう努めていく。

◆日本海東北自動車道における逆走事故・早急な再発防止策を

問 大内ジャンクションで軽自動車逆走し3人が亡くなるという悲惨な事故が発生した。県と国交省は再発防止に向け対策会議を開いたようである。市長は再発防止に向け県や国交省に可能な限りの手だてを講ずるよう意見を具申しいただきたい。

質問項目
1. 西目幼稚園の民営化は地域の意向に配慮を
2. 西目カントリーパークグラウンドゴルフ場の整備拡充を
3. 農業委員会からの要望にどう応えていくか
4. 高齢者の事故防止の観点から
5. 低投票率の「18歳選挙権」検証が必要ではないか
6. 教育振興について
7. 平和首長会議加盟の市長としての見解は

答 国、県、警察などによる対策会議を設置し、大内ジャンクションへの対策を優先して行いたい、との回答を得ている。事故の再発防止に向け根本的な解決が図られるよう関係機関に働きかけていく

◆「18歳選挙権」検証が必要

問 参院選では18歳選挙権での初めての国政選挙であったが低投票率で推移した。若年層への低投票率はこれまでも指摘されてきた。若年への訴えかけや主権者教育が十分だったか検証し、若い世代の政治参加を促す努力が欠かせないと思うが。

答 各高校での模擬投票の継続、明るい選挙推進協議会などと連携しながら投票行動へつなげていく。

交通の利便性も良く全国からの来客が見込まれる世界大会などのスポーツイベントの実績を誇る。
平成28年7月には命名権を仙台市内に本社を置く総合商社カメイに800万円で決定。指定管理は(公財)仙台市スポーツ振興事業団が担い、施設管理に要する経費は、仙台市からの委託料で賄い、基本財産の運用益、自主事業や補助金で運営していた。
自主事業では多世代をターゲットに「ワンコイン」で参加できる「曜日別プログラム」を用意し、運動の機会の動機付けをはかっていた。

◆カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)

(仙台市太白区)

行政視察 総合防災公園整備 特別委員会

10月7日～8日

視察の目的

- 平日利用の稼働率はどうか
- カメイアリーナのネーミングライツ(命名権)について
- センタービジョンの臨場感と必要性について

◆山形県総合体育館(天童市)

平成4年に開催されたべにばな国体を契機に県民のスポーツ活動や、多様化するレクリエーション活動の場として整備され、平成8年に山形総合運動公園として全面供用された。
屋外スポーツが通年利用できる屋内多目的コートをはじめ、各種スポーツ施設を備えていた。

指定管理はプロサッカークラブで名の知れた株式会社モンテディオ山形で、自主事業はスポーツ教室や講習会と全部で39のプログラムを用意して平日利用の稼働率の向上を図っていた。

◆ゼビオアリーナ仙台

(仙台市太白区)

センタービジョンの活用状況を確認するため、Fリーグ10周年記念・オールスターゲームを観戦。白熱した試合に臨場感が加わり、サポーターと選手がひとつになった試合はセンタービジョンの効用か・・・
総じて、大規模な施設のため利用率向上に苦戦を強いられていた。また、企画力が求められる自主事業と市が目指すスポーツ振興をどうマッチングするか、オープンまでのスポーツコミッションなどの役割は重要であると感じた。

功労者顕彰



井島議員



佐藤議員

市功労者顕彰式が11月24日、市内のホテルで開かれ、佐藤勇議員と井島市太郎議員が地方自治功労者として顕彰されました。